

自己チェックを活用した安全コーチング

井上貴文 北村康宏 佐藤文紀 増田貴之

本論文は、鉄道運転士を対象に、安全意識を向上させるために会社が行う教育について、既存の取り組みとは別に新たな手法を提案するものである。我々は安全教育にコーチングを取り入れることを目指し（これを安全コーチングと呼ぶ）、鉄道会社の電車区において試行を繰り返して具体的な手順を検討した。提案した手法は、最初に注意の特性に関する自己チェックである日常的注意経験質問紙を行い、フィードバック結果（図）を参考に、自分の弱点を考えてもらう。つぎに、グループ・ミーティングで注意と作業やエラー場面との対応について解説し、小グループで類似体験やエラー防

止のための自主的工夫についての討議を行ってもらう。その後、面談において、運転士が不安に思う注意の特性、作業場面、それに対処するための工夫についてコーチングによる面談を繰り返していくものである。2013年度より新しく運転士になる者を対象に実用化が開始された。

自己チェック結果のご報告

日常的注意経験質問紙
この質問紙は、職業生活の中での注意の能力や傾向を調べるものです。
大阪大学理学教授の許可を受けて使用しています。

注意を集中する能力	注意のそれやすさ	上手に注意を割りふる能力
自分の意思や作業の特徴にしたがって、自分の注意力（集中度）を思ったように高めることができる能力。	自分の意図に反して、注意が適切な対象以外のものごとに向けられてしまう傾向。	複数の課題をうまく組み合わせたり、新しい課題が加わってもうまく注意を割りふる能力。

あなたは、注意を集中する力は中程度（平均的）のようです。
注意の集中ができないと問題になりやすいのはどのような作業場面でしょう？



その場面は、とくに、あなたにとって事故防止上重要な場面になるかもしれません。

あなたは、注意が逃れにくい方で、それは長所ではないでしょうか？



しかし、油断は禁物です。もし、あなたがたびたびエラーをしていたとしたら、知らず知らずのうちに油断をしているのかもしれない。

あなたは、要領よく作業することが苦手のようです。
複数の課題をうまく組み合わせたり、経験したことのない状況に速やかに対応できなかったり、問題ごちゃごちゃするのはどのような作業場面でしょう？



その場面は、とくに、あなたにとって事故防止上重要な場面になるかもしれません。

上で思いついた場面に対し、自分でどのような対策ができるかを考えてみてください。グループ討議と面談で話し合ってください。

監修：（公財）鉄道総合技術研究所 人間科学研究部 安全心理

図 自己チェック結果のフィードバック例